

被災地の子どもたちに、
いじめや虐待・性暴力などのあらゆる暴力から
自分を守るためのプログラムを届ける仲間に！



J-CAPTA&日本ユニセフ協会連携事業

キャップ CAPスペシャリスト養成講座 in 岩手沿岸部

日 時 基礎編 2012 年 12 月 21 日（金）・22 日（土）・23 日（日）-計 24 時間-
（1 日目 10：00～18：00／2・3 日目 9:15～17:15）
実践編 2013 年 1 月 19 日（土）・20 日（日）-計 16 時間-
（1 日目 10：00～18：00／2 日目 9:15～17:15）
場 所 山田町船越防災センター（岩手県下閉伊郡山田町船越 6-52-8）

CAP とは、Child Assault Prevention（子どもへの暴力防止）
の略で、子どもたちがいじめ、痴漢、誘拐、虐待、性暴力といっ
たさまざまな暴力から自分を守るための教育プログラムです。

この講座は CAP プログラムを実践する暴力防止の専門家（CAP スペシャリスト）を養成する講座です。
この度日本ユニセフ協会（ホームページ <http://www.unicef.or.jp/>）の震災復興支援プログラムとの連携事
業として、岩手県沿岸部にて養成講座を開催いたします。被災地へ CAP ワークショップを届ける CAP 活動に
賛同いただく方々の養成研修と なっています。

子どもに関わる全てのおとな（親、教師、保育士、幼稚園教諭、保健師、看護師、電話相談員、カウンセラ
ー、子ども会のリーダー、児童相談所のスタッフ、教育関係者……）に受講していただき、CAP の理解者と
実践者として、震災復興の中で共に子どもの人権が尊重される社会を創る仲間になってください。

子どもへの暴力防止の
知識とスキルを学ぶ基礎講座

対 象：18 歳以上の方 **定 員：**40 人 **受講料：**無料 **テキスト代：**4,000 円

※先着順にて受付け、定員になり次第締切ります。なお参加者が 20 人に満たない場合は、開催を延期する
場合があります。その際は 12/5 までにご連絡いたします。

※受講料は通常 4 万円ですが福島県・宮城県・岩手県の方は日本ユニセフ協会連携事業により無料です。

※参加条件：基礎編・実践編（5 日間全 40 時間）を受講できる方で、
修了後 3 年間 CAP メンバーとして被災地での CAP 活動にご協力いただきます。

講 師：J-CAPTA トレーナー 石附幸子・木村里美

※J-CAPTA は CAP プログラムの使用に関する権限をもつ ICAP（International Center for Assault Prevention）から
認可された日本の CAP トレーニングセンターです。（ホームページ <http://j-capta.org/>）

主催：一般社団法人 **J-CAPTA** (Japan CAP Training & Action)

問い合わせ・申込み：TEL/FAX 011-666-8517／メール j-capta@j-capta.org

協力：JCAP311Project ネットワーク

CAP スペシャリスト養成講座の内容

基礎編 3日間 24時間	オープニング・サークル	講座目的・グラドルール
	講義Ⅰ 防止教育の思想と理論	1. 子ども虐待問題に関わる4つの分野 2. 子ども虐待への対応の歴史 3. 子どもの権利 4. エンパワメントの思想と方法 5. レイプのフェミニスト分析 ビデオ: 「NOW I CAN TELL YOU MY SECRET」
	講義Ⅱ 子ども虐待問題の知っていなければならない基礎知識	1. 子ども虐待の分類 2. 児童虐待防止法 3. 沈黙の役割 4. 性的虐待の4つの前提条件 5. 性的虐待順応症候群 6. ドメスティック・バイオレンスと子ども
	講義Ⅲと練習・コーチ 子どもワークショップ	1. CAP 子どもワークショップの実演 2. 実施に関する留意事項 3. 練習・発表・コーチ
	講義Ⅳと練習・コーチ ワークショップ後のトークタイム	1. トークタイムの目的 2. トークタイムにおける防止スペシャリストの役割 3. クライシスカウンセリング（緊急相談）の方法と技術 4. 虐待、いじめを受けている子の示す兆候 5. 練習・発表・コーチ
	講義Ⅴ おとなワークショップのやり方	1. おとなワークショップの目的 2. おとなワークショップの流れ 3. おとなワークショップでの質問への対応
	講義Ⅵとクロージング・サークル	CAP の実践について、確認事項
実践編 2日間 16時間	オープニング・サークル	CAP とわたし
	ゲスト講師による講義	「児童相談所の機能と役割、その権限」 ～虐待対応における市町村および学校との連携～
	おとなワークショップの実践	①打合せから振り返りまで ②実施のポイント ③学校理解を深める ④練習・発表・コーチ
	子どもワークショップの実践	①実施にあたっての留意事項 ②ファシリテーター、 ロールプレイヤーの役割と実施のポイント ③練習・発表・コーチ
	トークタイムの実践	①トークタイムの持ち方 ②トークタイムで出会った子どもたち ③トークタイムのつなげ方 ④練習・発表・コーチ
	クロージング・サークル	今後のCAP活動に向けて、CAP スペシャリスト認定証授与

受講すると何ができるのか？

CAP スペシャリスト養成講座（5日間40時間）を受講すると、CAP スペシャリストの資格を認定いたします。CAP スペシャリストはCAPプログラムを実施することができます。ただしその場合は地域のCAP実践団体に所属することが必要です。

◆岩手県・宮城県・福島県の方は終了後3年間J-CAPTA登録CAPグループに所属し（*J-CAPTA登録料年1,000円、グループ年会費はグループによって異なる）、地域のCAP活動や被災地でのCAPワークショップ実施（*交通費支給）に協力していただきます。

◆なお岩手県沿岸部にはCAP実践グループがありませんので、沿岸部の方は新しいグループ立ち上げと地域の子どもたちにCAPを届ける実践者としてご協力ください。

◆3県外の学生311支援にて修了の方もJ-CAPTA登録CAPグループまたはJ-CAPTAアクション会員（年会費3,000円）に3年間所属していただきます。

CAP プログラムについて

現在 CAP は、多くの幼稚園・保育園、小中学校、特別支援学校や児童養護施設等で実施されています。

子どもワークショップ…子ども対象のプログラムです。クラス単位で実施します。年齢や障がいのニーズ等によってプログラムの内容や所要時間が違います。ロールプレイ（役割劇）を見たり参加したりなど、参加体験型の学習形態で自分の感じたことや考えたことを話し合いながらすすめます。一人一人が尊重されて楽しく暴力防止の具体的な方法を学びます。

おとなワークショップ…保護者や教職員、地域の人など、おとなを対象にしたプログラムです。子どもと暴力についての正しい知識を知り、子どもの人権尊重とエンパワメントの支援のあり方について考えます。
おとなワークショップは単独でも実施できますが、子どもワークショップを実施する際には、事前に教職員ワークショップと保護者ワークショップが必要です。

詳しくはホームページでチェック☞<http://j-capta.org>

CAP ワークショップを受けた感想

・ぼくは、5年生の時ちょっといじめられていました。今、日本中でいじめによる自殺が続いています。同じ人間として悲しいと思いました。ぼくは日本中の子どもにCAPが必要だと思います。なぜかというところCAPはいじめや暴力のことについて正しく話してくれ、人権のことも話すので、いじめられている人は勇気が出るし、いじめている人も気づくと思うからです。（小学生）

・安心・自信・自由を誰にも奪われたくないと思った。自分らしさを大切にしたい。いやな事があったら友だちに相談したいし、友だちの相談を一生懸命にきいてあげたいです。暴力は絶対にしない、させられない。（中学生）

・劇を实际やってみると、どうするのいいかもっと知ることができました。みんなの力をかりることで、自信を持てるということもわかりました。楽しい時間をありがとう。（小学生）

・私が無気なく言っていた言葉が、子どもが話そうとするきっかけを失っていたことに気がきました。意識的に子どもの話をしっかりと聴くようになったら、子どもが自分から話してくれるようになりました。（教師）

・中学生の娘が学校から帰る途中男に肩をつかまれ声をかけられました。「やめてください」と言っても手を放してくれないので、大声で叫び逃げて帰ってきました。娘は相当ショックを受けたようです。「大きな声が出せて良かったね」とほめてやると、「小学校3年生の時に受けたCAPの事を思い出して声が出た」との事。当時私もCAPを受け子どもと一緒に練習していました。不審者情報があるたびにそのことを話してきたことが幸いしたようです。（保護者）

CAP スペシャリスト養成講座受講申込書

必要事項をご記入の上、FAX でお申込みください。 FAX 送信先 011-666-8517

(FAX のない方はメールでも受け付けます。 j-capta@j-capta.org へご連絡ください)

(フリガナ)

お名前

職業・活動

連絡先住所 〒

TEL/FAX

E-mail

受講希望会場

<基礎編>

開催地

日程

<実践編>

開催地

日程

応募動機

終了後の活動予定

所属 CAP グループ名

使用テキスト

- ☐ 『新・子どもの虐待』(岩波書店) ¥600 (必須です。持っていない方はチェックしてください)
- ☒ その他テキスト代として ¥3,400 (当日お渡しします)
- 『CAP 子どもワークショップ実施ガイド』『J-CAPTA 養成講座テキスト』
『Strategies for Free Children』『J-CAPTA 教職員ワークショップ冊子』他

☐ 受講料免除を希望する

・所属 CAP グループが決まっている方は、上記にお書きください。未定の方にはグループをご紹介します。

この講座をどのようにしてお知りになりましたか？

CAP グループ・知人・広報誌(チラシ・新聞)・HP・その他(

)